

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	空間研究小委員会	主 査 名：佐野 友紀 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：西出 和彦
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・空間研究の再構築（歴史的計画研究の継承から、新しい空間研究へ）</p> <p>2012 年度：新規活動方針の検討、「空間研究」に関する調査・研究活動。公開研究会の開催（年 3 回程度）ミニ研究会の開催（随時）</p> <p>2013 年度：事例収集、「空間研究」に関する調査・研究活動。公開研究会の開催（年 3 回程度）ミニ研究会の開催（随時）</p>	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無	
	<p>主査：佐野 友紀（早稲田大学）</p> <p>幹事：佐藤将之（早稲田大学）、恒松良純（秋田工業高等専門学校）</p> <p>委員：郷田桃代（東京理科大学）、積田洋（東京電機大学）、鈴木弘樹（千葉大学）、太幡英亮（名古屋大学）、丹羽由佳理（東京理科大学）北川啓介（名古屋工業大学）、徐 華（日本工業大学）、高橋浩伸（九州大学）、小林美紀（東京工業大学）、稲坂晃義（東京理科大学）永峰麻衣子（小山工業高等専門学校）、飯塚裕介（大東文化大学）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>新空間探求WG：建築空間および都市空間を内部空間、外部空間という視点でとらえ、これらを含めた広義の「空間」研究分野について、他分野も含めた専門家や研究者による横断的な視野での討論会、座談会を企画し実施することを目的とする。</p> <p>空間研究調査分析方法 WG：主に空間研究小委員会の活動および関連研究の研究者、他分野の研究者等によって蓄積された空間研究分野における研究成果を、広く社会に公表するために出版物の刊行企画を行い「空間研究」の魅力を伝えることを目的とする。</p>	
2014 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	<p>1. 第 77 回空間研究会 暮らしの空間をシェアする- 新しい居住の形態- 参加者数 63 名 (資料名) 暮らしの空間をシェアする- 新しい居住の形態-</p> <p>2. 第 78 回空間研究会 コミュニティのある街の形成と空間について 参加者数 27 名 (資料名) コミュニティのある街の形成と空間について -ジョンソントウンを事例として-</p>
大会研究集会	

対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 研究会開催は2回実施された。複数件が企画中である。(実施計画：3回) 2. ミニ研究会は3回実施された。(計画：随時) 3. 委員会は5回開催された。(計画：6回)
委員会活動の問題点・課題	テレビ会議システムによる遠隔システム会議実施の希望があったが、会場予約ができない場合があった。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。